

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）				対象年度		令和5年度			
事業番号	43	事業名	39歳以下健診事業		担当課		健康推進課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		4-1-2-1 39歳以下健診事業		
			(大事業名) 成人保健事業		決算書ページ		149 ~	一般	
総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		事業開始の背景	若い世代からの生活習慣病を予防する対策の一環として、市民が自分の健康状態を確認し、早期発見・早期治療によって市民の生涯にわたる健康の保持増進を図ることを目的とし実施。健康づくり計画（第2次）からは「健康管理」の項目として位置付けている。			
	政策	3	いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進						
	施策	(1)	市民の健康づくり						
					市民・民間事業者との連携協働の可能性		民間事業者とのみ協働可		
その他	開始年度		昭和62年度						
	終了予定年度		<input type="checkbox"/>	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	未定			
	根拠法令等		地域保健法						
	関連計画		長久手市健康づくり計画						
I 基本情報	アウトプット（詳細はⅡへ）				アウトカム（詳細はⅢへ）				
	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)		
	【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 25074 【事業内容】 健康診査を受ける機会のない若い年齢（16歳から39歳まで）の人が健康診査を受け、自らが健康に意識を持ち、生活習慣病を早期から予防するよう39歳以下健診を行います。		【アクションプラン指標】 受診者数【単年】 【その他の指標】 子宮頸がん検診とのセット検診の受診者数		各種健診の受診行動を通して、市民が自分の健康に関心を持ち、自ら健康づくりに取り組む人が増える。 (成果指標名) 市民アンケート「健康を意識した生活をしていると思う」の該当率（20～30歳代）		大 事 業 共 通 市民の生涯にわたる健康の保持増進を図り、健康寿命が延伸する。		

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ	区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度
		1	【アクションプラン事業】 受診者数【単年】	人	基準値 318	見込	400	300	300	300	300
			目標値 400	実績	289						
2	【その他指標】 子宮頸がん検診とのセット検診の受診者数	人	基準値 —	見込	120	130	140	150	160		
			目標値 —	実績	190						
3			基準値	見込							
			目標値	実績							
4			基準値	見込							
			目標値	実績							
エピソード	事業開始からの経緯										
	<p>学校や職場等での健診を受ける機会のない16～39歳の市民を対象として、若い世代から健康に関心を持ち、生活習慣病を予防できるようにするために開始。平成25年度に策定した「健康づくり計画(第2次)」においては、基本目標である「健康寿命の延伸」を達成するための領域の一つとして「健康管理」を挙げ、性別・年齢を問わず各種健診の受診を進めていくこととしている。</p>										
	R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
<ul style="list-style-type: none"> ・5日間実施し、289人の受診があった。 ・そのうち、子宮頸がん検診と同日に実施できる日を3日設けた。 ・広報やホームページで事業を周知するとともに、乳幼児健診時にチラシを配布した。 ・若い世代が受診しやすい健診とするため、インターネットでの健診日時の予約、子宮頸がん検診との同時受診など、利便性を高めた。 ・コロナ禍で受診者が減少していたが、R4年度に続き、R5年度も受診者は増加した。 ・産休や育休などの制度もより整ってきて、就業を継続している人も多くなってきているため、職場等で健診機会がある人も多いと思われる。 											

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		市民アンケート「健康を意識した生活をしていると思う」の該当率（20～30歳代）		%	年度	▶	年度	▶	【現状】 R5 年度	▶	R10 年度	▶	R15 年度	
									64		69		74	
		成果達成状況						指標目標値の根拠						
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						20歳以上の成人全体では、健康を意識した生活をしていると思う人は74.2%であるが、当該事業の対象年齢である20～30歳代の該当率を指標とした。成人全体の現状値74.2%を10年後の目標値として設定した。					
	評価の理由、分析													
	20～30歳代では、主観的健康観は高い反面、健康を意識した生活を送っている人は、他の年代に比べて少ない。若い世代から健康を意識する人を増やして、生涯にわたる健康の保持増進を図っていく必要がある。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）			今後の方向性の理由									
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止			若い世代で健康に関心が薄い傾向があり、職場等での受診機会がない人に対して、疾病の早期発見、早期治療、生活習慣病の予防につなげる必要があるため。								
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容									見直し可能年度		
1			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用	令和7年度予算の方向性 (PLAN)	R7年度の費用 (R6年度比)		(単位：千円)	R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度			
		A	A. 現状維持 B. 拡充	事業費	予算	予算	決算	予算	決算		
			C. 縮小 D. 廃止		3,088	3,087	2,232	2,987	2,381		
		理由			特定財源	合計額	262	350	281	300	262
		若い世代から自分の健康状態を意識し、健康づくりや生活習慣病の予防を進めていく必要があるため。				(内 国費)					
						(内 県費)					
						(内 諸収入)	262	350	281	300	262
						(内 その他)					
		積算額			一般財源		2,826	2,737	1,951	2,687	2,119
		消耗品費 8千円 委託費 3,080千円			R6年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、 (R5年度予算額) >						
消耗品費 8千円 (7千円) 委託費 3,080千円 (3,080千円)											
			3年間の推移								